教育委員の佐々木です。

教育委員として抱いている思いを申し上げることで年度初めのご挨拶とさせて頂きたいと思います。

まず、初めに保護者としての立場から申し上げます。この時期、新しく出会う学校での仲間や先生方との出会いドキドキしているお子さんが多いと思います。子どもたちには、とにかく穏やかに健やかに成長してくれることを切に願うのが保護者です。川西の保護者を代表する気持ちをこめて、先生方、どうぞ今年度も子どもたちをよろしくお願いいたしますとお伝えしたいです。

次に、専門分野（法律実務）に携わる者の観点から申し上げます。

これまで、法律について、あるいは職業について話してもらいたいということで、折にふれ、法教育のため、学校で授業時間を頂いてきました。

御存知のとおり、2年前、成年年齢が18歳に引き下げられました。18歳で成年となった途端に国民の権利義務が自分ごととなります。知識不足から自分が利用できる公的サービスへのアクセスが著しく制限されるといった事態に陥る危険もあります。

子どもたちには、しっかりとリーガルリテラシーを身に着け社会に出てほしいと願っています。個人的には、たとえば、社会科で教わる内容などとリンクさせ、専門家から実務的な話を聞く機会があれば、教科での学習がさらに深まるのではないか考えています。

その他、主権者教育等についても思いはたくさんありますが、またの機会にお話できればとしたいとおもいます。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。